



鶴居村

つるい 議会だより

子ども達の「未来の笑顔」のために



絆がつながる心地よい汗！

釧路湿原縦断ウォーク in つるい

好成績

学力テスト報告・・・・・・・・・・P 3

決算特別委員会・・・・・・・・・・P 6～P7

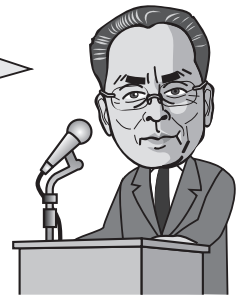
定例会議案審議・・・・・・・・・・P 8～P9

6名が村政を問う

一般質問・・・・・・・・・・P 11～P16

委員会報告・研修・・・・・・・・P 18～P19

住民の声・・・・・・・・・・P 20



私より
諸般報告をします。

北海道町村議会 議長会定期総会

6月17日、札幌市で開催され、平成26年度事業報告および歳入歳出決算、平成27年度事業計画および歳入歳出予算を審議し、原案通り承認されました。また、役員改選が行われました。

- ◆**会長** 上富良野町 西村議長
- ◆**副会長** 足寄町 吉田議長
- 新冠町 芳住議長
- ◆**監事** 当別町 後藤議長
- 厚沢部町 鈴木議長
- 弟子屈町 八幡議長

釧路町村議会 議長会8月定例会

8月7日、白糠町で開催され、町村議会議長全国大会と釧路町村議会議員研修会について協議しました。

全国大会は11月11日に東京都で、同時に実施する道外視察研修は滋賀県大津市議会の「タブレット端末を利用した議会改革の取り組み」を視察します。

議員研修会は11月20日に浜中町で開催することにしました。

※**タブレット端末**
タブレット(平板型)でキーボードは付いておらず、液晶の画面に指先をあてながら操作する「タッチパネル」が採用されている軽量のパソコンです。



私より
行政報告をします。

マイナンバー制度 が始まります

10月5日から、全ての国民一人ひとりに12桁のマイナンバー(個人番号)が届けられます。

住民に対し周知するため、今後、リーフレットの配布や村の広報誌による周知を順次行う予定です。

交通死亡事故ゼロ が1000日に!

平成24年11月23日に茂雪裡で発生した外国人死亡事故以来、8月21日をもって交通死亡事故ゼロ、1000日を達成することが出来ました。

鶴居村総合戦略 策定委員会が始動

7月30日に、「鶴居村総合戦略策定委員会」を開催しました。

委員長に釧路丹頂農協の武藤代表理事組合長、副委員長に大津商工会長を選任し、総勢10人の委員で策定します。

高齢者村内移動 サービスの試験運行

7月1日から幌呂老人クラブの例会出席のために、幌呂保育園の通園バスを活用した高齢者村内移動サービスの試験運行を開始しました。10人くらいの高齢者がバスを利用しています。

また、支雪裡・茂雪裡地区の高齢者などを対象に、福祉バスを活用した買い物支援の新たな取り組みとして、村や商工会、釧路丹頂農協と協力した「買い物ツアー」を8月26日と9月9日に実施しました。

消防第4分団 (下久著呂)が優勝!

9月12日に釧路市消防訓練所で開催された、第60回釧路管内消防団員技能競技大会の小型ポンプの部で、第4分団(下久著呂)が見事優勝を飾り、訓練の成果を思う存分発揮しました。

鶴居中学校を会場に 総合防災訓練

6月26日、鶴居中学校を会場に村総合防災訓練を実施しました。

全村民にも避難訓練の参加を呼びかけるなど、規模を拡大して行いました。

要請活動

6月15・16日に、温根内ビクターセンターの早期建て替えのため、環境省、道議会、道庁に要請活動を行いました。

また、7月24日には、釧路地方総合開発期成会による国・道の地元関係期間への要請を行い、7月28日は北海道へ、29日は国に対して要請活動を行いました。

酪農実習生受け入れ

7月23日から8月8日までの17日間、倉吉農業高校の6人の生徒が幌呂地域で酪農実習を行いました。受け入れてくれた各農家の皆さんには感謝と御礼を申し上げます。

希の杜団地

7月末から販売開始している、下幌呂地区での新たな分譲地の名前が「下幌呂希(のぞみ)の杜団地」となりました。1区画約200坪で26区画を販売します。



教育行政報告



国安教育長より、4月21日に小学6年生(3校・29人)、中学3年生(2校・26人)が行った「全国学力・学習状況調査」の報告がありました。今回は理科も加りました。

◆学力テスト◆

◎小学校

国語A・国語B・算数A・算数B・理科の5教科となりましたが、全て全道・全国平均を上回り、安定した成績となっております。

特に「国語B」と「算数B」が好成绩なのは特筆すべきと判断しています。

◆課題となった質問紙調査◆

小学校

●朝食を毎日食べていますか？

	食べている	どちらかと言えば食べている	あまり食べていない	全く食べていない
村	82.8%	10.3%	3.4%	3.4%
道	84.9%	9.2%	4.7%	1.2%
国	87.6%	8.0%	3.4%	0.9%

「全く食べていない」児童がおり、学校と家庭が連絡・連携を取り合い対応にあたっており、改善の方向に向かっています。

●理科の勉強は大切だと思いますか？

	思う	どちらかと言えば思う	どちらかと言えば思わない	思わない
村	65.5%	10.3%	24.1%	0.0%
道	59.4%	26.9%	10.4%	3.1%
国	59.7%	27.2%	9.7%	3.1%

4人にほぼ1人が「理科」を大切だと思っていない。学校とともに分析し、今回の理科の成績にも連動しているののかも含めて更に調べる必要があります。

中学校

●新聞を読んでいますか？

	ほぼ毎日読んでいる	週に1～3回程度読んでいる	月に1～3回程度読んでいる	ほとんど全く読まない
村	7.7%	7.7%	11.5%	73.1%
道	7.9%	12.6%	19.6%	59.7%
国	6.3%	12.0%	19.1%	61.8%

4人に3人が新聞をほとんど、全く読んでいない結果となりました。「読書離れ」、「活字離れ」を食い止めなくてはならないと考えます。

●授業時間以外にどのくらい読書していますか？

	2時間以上	1時間以上2時間未満	30分以上1時間未満	10分以上30分未満	10分より少ない	全くしない
村	0.0%	3.8%	11.5%	34.6%	11.5%	38.5%
道	7.2%	9.3%	16.6%	20.9%	12.5%	33.5%
国	6.3%	8.7%	15.6%	21.6%	12.7%	35.0%

約4割近くの生徒が読書をしていない結果が出ています。「読む時間がないのか」、「読みたくないのか」、青少年の人間形成に欠かせない大事な要素の一つが「読書」と言われています。残念な結果と言わざるを得ません。

◎中学校

小学校同様に理科を加えた5教科全てが全道・全国平均を上回り、安定した成績となっております。特に「数学A」が大きく上回っており、高いレベルに達しています。

◆質問紙調査◆ 「学校や家での勉強や生活の様子」についての設問です。今回は理科に関する設問が多く84項目となりました。

A問題…主として知識
B問題…主として活用

◆まとめ◆ 本年度も安定した成績・結果が示されました。これは、村内の全校で、

全体的に好ましい結果となっておりますが、課題となった項目を左記にて報告します。

自校の教育目標や思い描く子ども像に照らし合わせた教育活動を積み重ねていることの証しです。引き続き村全体で子ども達に「生きる力」「生きる力」を育てていきます。



効果はあったのか！

どう生かされたか チェック！

平成26年度決算特別委員会開催

9月16日に決算特別委員会を開催しました。
委員長は天津泰則議員、副委員長は佐藤吉人議員が選出され、議会選出の秋里広志議員は委員

席から監査委員席に移動し開始しました。
白熱した議論が展開され、原案通り全員賛成で可決されました。



昨年造成中の下幌呂希の杜団地



下幌呂希の杜団地、只今、販売中！

〈決算総額〉

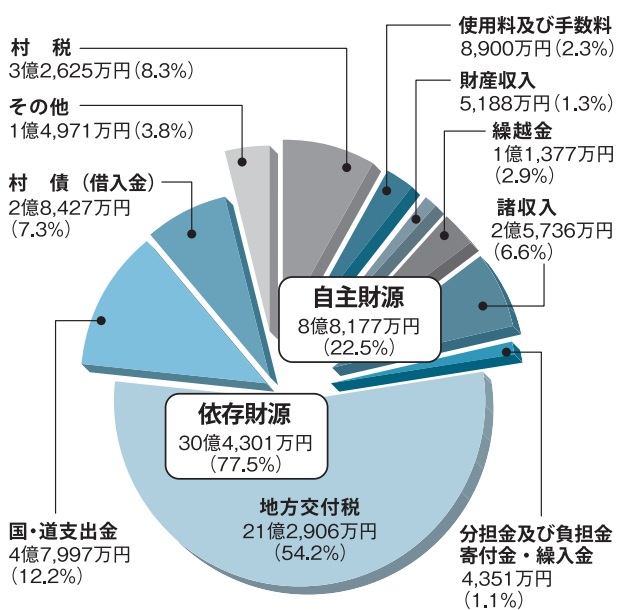
会計名	歳入総額		歳出総額		差引額	一般会計繰入
	決算額	前年度比	決算額	前年度比		
一般会計	39億2478万円	15.3%減	38億7448万円	14.2%増	5030万円	
特別会計	8億9706万円	1.7%増	8億1011万円	0.1%減	8695万円	1億7076万円
水道	5392万円	5.6%増	4980万円	6.5%増	412万円	821万円
農業集落排水	7236万円	0.3%減	7044万円	1.6%減	192万円	4980万円
国民健康保険	4億1314万円	4.1%減	3億5434万円	6.2%減	5880万円	5157万円
診療所	8148万円	5.4%減	8148万円	5.4%減	0万円	1760万円
介護保険	2億4466万円	7.1%増	2億2280万円	3.0%増	2186万円	3410万円
後期高齢者医療	3150万円	1.7%増	3125万円	7.8%増	25万円	948万円
合計	48億2184万円	12.5%減	46億8459万円	12.1%減	1億3725万円	

最小の経費で最大の

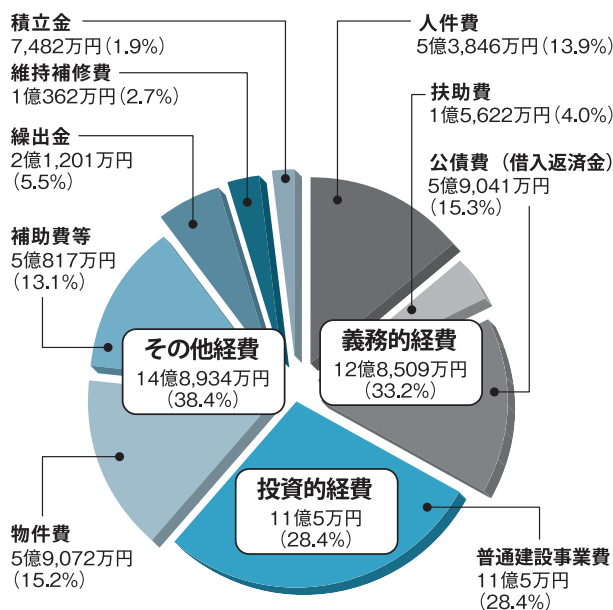
平成26年度
決算

一般会計支出総額
38億7448万円は

歳入総額39億2478万円



歳出総額38億7448万円



〈基金と備考資金の状況〉

基金の種類別	平成25年度末	平成26年度末	増減
一般会計に関わる基金の合計	26億8195万円	27億4535万円	6340万円増
特別会計に関わる基金の合計	2096万円	2566万円	496万円増
北海道市町村備荒資金納付金	42億0917万円	40億6510万円	1億4407万円減
基金保有額の合計	69億1208万円	68億3611万円	7597万円減

〈実質村民一人あたりの基金残高〉

(平成26年・3月末人口 2,513人)

項目	見込額	村民一人あたりの金額
基金残高(貯金)	68億3611万円	272万298円
地方債残高(借入金)	45億4713万円	180万9443円
差し引き	22億8898万円	91万855円



別委員会 Q&A

総額48億円の事業効率率は？

9月16日に平成26年度決算特別委員会を開催しました。

委員長 大津泰則
副委員長 佐藤吉人
委員 松井広道
吉田保博
東 隆行
及川満浩
松井洋和

※大津泰則議員は決算特別委員会の委員長、秋里広志議員は監査委員なので、決算特別委員会では、質問する立場にありません。
また、松井議長は慣例により参加していません。

松井広道委員

問 中久著呂の奥の地域では携帯電話の電波が届かない状況にあり、農業や農協職員、農産職員の仕事にも支障が出ています。さらなる携帯電話会社への働きかけが必要では？

答 今までも携帯電話会社と協議していますが、なかなか前に進まない状況です。

問 宮島岬で道に迷い救助の要請がありました。誘導看板の設置や熊への注意が必要では？

答 宮島岬の入り口は民有地のため、入林の申請は教育委員会にはきていません。環境省など関係機関への要望、協議を行います。キラコタン岬では入林申請時に熊への注意をしています。

吉田保博委員

問 役場庁舎の暖房に、現在の重油ボイラーと併用する薪ボイラーを設置する計画が、工事費や補助金の関係で延期されています。450万円かけた実施設計委託の前段階でもっと慎重な検討が必要だったのではありませんか？

答 計画を中止したわけではありませんが、見込みの甘さは真摯に受け止めて今後に生かします。

問 大楽毛村有地の取得の経緯や先人達の苦勞を、もっと後世に伝えるべきでは？

答 どのような方法が良いか検討したい。

問 音羽橋下流の中洲撤去工事をしましたが、大雨などで河川が越水して牧草地に被害が出ている所が他にもあります。その対応は？

答 引き続き国、道へ要望していきます。

東隆行委員

問 カラスは有害駆除の報償費と補助金で1羽につき600円です。現状、カラスの酪農被害として牛が突かれての乳母炎や、サルモネラ菌などを運び感染を広げるなどの状況にあり、もっと報償費を上げて駆除をするべきでは？

答 猟友会からも要望を受けています。来年度に向けて増額の検討を行います。



雪裡川の中洲撤去Before



雪裡川の中洲撤去After

26年度決算特別

佐藤吉人委員

問 移住体験住宅の利用状況は？

答 昨年10月から利用開始しています。鶴居市街の住宅は12月から3月まで毎月1世帯ずつ、幌呂市街の住宅は2月に1世帯のみの入居状況となっています。27年度は春から順調に利用されています。定住につながるよう努めます。

問 鶴中と鶴小が道徳教育推進校に指定されています。最近中学生の痛ましい事件が報道されていますが、道徳についての見解は？

答 豊かな心をどう醸成するかを一番に考え、鶴中と鶴小が道徳推進校として行う、全道の公開研究会の結果を検証して取り組んでいきます。

総額48億円の費用対効果は？

問 酪農教育振興基金研修事業として、海外の酪農先進地への研修を行っています。酪農の従業者も対象にしては？

答 基金の運用委員会でも議論しましたが、酪農後継者（法人では役員）が対象となります。将来の有望な若者に有意義な研修になるよう協議したい。

及川満浩委員

問 今年度、道道の草刈りが実施され、住民からも大変喜ばれています。今後は？

答 道道の2回の草刈りは、北海道と協議して村も費用の一部を負担することで実施しました。今回の事業をよく検証して今後も継続していきたい。

問 近年、大型の低気圧による暴風雪が増えています。村では防雪柵の設置にあたり、調査などはしていますか？

答 特別に調査はしていませんが、担当職員の見回りなどで日々管理しています。

問 自衛隊から村に対し、隊員募集などのための高校生、中学生の名簿の提出協力要請があると思いますが、その対応は？

答 隊員確保の観点から要請に応じて提出しています。

松井洋和委員

問 役場前庭のモニュメントが錆びついてきていますが、補修が必要では？

答 開村50周年を記念して、著名な彫刻家である國松明日香氏に依頼し作成したモニュメントです。補修しようとして作者に問い合わせたところ、「赤いサビが全体を覆うことで芸術作品となる」との回答でした。

問 鶴居村独自の教育資金利子補給制度は、とても素晴らしい制度ですが、大学にかかる経費や奨学金を利用する学生が増えていることを考慮すると、村の基準の上限200万円、期間7年間を緩和してはどうか考えますが？

答 見直すことも含めて検討したい。

問 全国的に人口減少、少子化が進む中、本村でも「子ども子育て」施策の更なる充実をはかり、安心して子どもを産み育てる環境を整備し、子育て世代の定住化を促進すること、交流人口を増やし商工観光業者が希望を持って設備投資でできる環境や強いメッセージが必要では？

答 今までより一歩踏み込んだ取り組みが今後、必要だと思っています。



赤サビも芸術！



9月定例会 議案審議

第3回定例会は9月15日に開会し、16日を休会として決算特別委員会を開催し、17日に閉会しました。

村長からの提出議案は、報告2件、認定1件、専決処分1件、条例等改正6件、条例等制定3件、人事案件1件、補正予算6

件の合計20件が上程され、すべての議案が原案通り可決されました。

また、議員発議案は、規則改正1件、意見書1件で原案通り可決し、陳情1件を総務常任委員会に付託しました。

平成27年度補正予算

- ・一般会計補正予算
8915万4千円を追加し、総額37億8525万5千円。
- ・水道特別会計補正予算
148万3千円を追加し、総額4548万3千円。
- ・農業集落排水特別会計補正予算
766万8千円を追加し、総額7486万8千円。
- ・国民健康保険特別会計補正予算
1586万8千円を追加し、総額4億5646万8千円。
- ・介護保険特別会計補正予算
2096万4千円を追加し、総額2億5836万4千円。
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算
12万6千円を追加し、総額3162万6千円。

総額
48億円

9月16日に開会された決算特別委員会に付託した平成26年度各会計歳入歳出決算は、全員賛成で認定されました。

平成26年度
決算認定!

下幌呂小学校の
グラウンド拡張!
4300万円

児童の野外活動に対する教育環境の向上を図るため、旧下幌呂母と子の家の建物の大部分と進入道路を撤去し、グラウンドの拡張とバックネットの設置、緑地帯の造成などをを行います。

特産品開発などに
補助金!
100万円

地場産品や特産品の開発などを促進し、地域活性化や産業の振興、新たな雇用創出などを図るため、専門の団体を組織して、地域特産品の開発活動などに必要な経費を村が補助します。

大雨などによる
村道・農林道の
補修工事!
3260万円

融雪や今年8月の大雨により、道路などの排水設備や法面などが損傷し、本格的な降雪時期前の補修が必要であるため、工事費を増額補正します。

教育委員会を
全員賛成で同意!

藤原千晶氏(新任)
任期4年 43歳



財政健全化比率と
資金不足比率は良好!

健全化判断比率

(単位: %)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
-(15.00)	-(20.00)	7.6 (25.00)	-(350.0)

資金不足比率

(単位: %)

水道特別会計	-(20.0)
農業集落排水特別会計	-(20.0)

カッコ内は経営健全化基準、-は数値なし



一般会計補正予算

Q & A

ここが聞きたい

◆ 条例の制定・改正 ◆

及川満浩議員

問 マイナンバー制度の施行にともない、新たに特定個人情報保護条例を制定しますが、役場内部での取り扱いはいく?

答 例えば、役場総務係で職員の源泉徴収票を作るときは、職員一人ひとりから個人番号の提示を受けて作成します。

また、村の条例で定められた場合には片内連携をすることが出来ます。例えば、税務係で持っている所得情報を、建築係で新しく公営住宅に入居する人の所得情報を把握するのに使用することが出来ます。そのための条例改正は12月定例会で提案する予定です。

大津泰則議員

問 ふるさと納税制度を主体とした「鶴の居る村寄附条例」の改正で、新たに「こども子育て及び青少年の人材育成に関する事業」の項目を追加しましたが、具体的にどのような事業に?

答 次世代を担う子ども達に特化した項目を追加することで、新たな子ども子育て事業や青少年の人材育成のための事業に使いたい。

鶴の居る村寄附金の事業

- ①特別天然記念物「タンチョウ」の愛護。
- ②釧路湿原を含めた自然環境の保全など。
- ③地域振興及び地域福祉など。
- ④教育及び文化スポーツの振興。
- ⑤こども子育て及び青少年の人材育成。

◆ 補正予算 ◆

佐藤吉人議員

問 利用者の多い下幌呂夢の杜団地バス停留所の団地側に、下雪裡7号に設置していたバス待合所を移設しますが、温根内ビジターセンターにもバス待合所が必要では?

答 今後検討したい。



まもなく夢の杜団地へ移動します

松井洋和議員

問 妊婦検診の助成費が64万円増額補正されているのは?

答 母子手帳の交付者を対象に、妊婦健診の自己負担額を村が全額助成していますが、例年に比べ対象者が増加しているためです。妊婦健診の対象者数は28人を見込んでいます。

大津泰則議員

問 特産品開発に新たな組織を立ち上げますが、専門家を入れる必要があるのでは?

答 現在契約しているコンサルタントや広告代理店などの専門家から意見をもらい、開発の参考にします。

及川満浩議員

問 地域特産品開発に100万円の予算を新たに計上していますが、内容は?

答 新たに特産品開発の専門の団体を組織します。地域活性化や産業振興、雇用創出のために広く村民に参加してもらい、特産品開発の検討や必要な経費の助成を行います。

問 10月からマイナンバー制度の通知カードが送付されますが、行政手続きには?

答 個人番号カードは来年1月から交付されますが、10月に送付される通知カードには顔写真がないので、免許証など本人確認できるものを同時に提示してもらうことで行政手続きが出来ます。



意見書

国へ提言

林業・木材産業の
成長産業化に向けた
施策の充実強化
を求める意見書

提出者 吉田保博
賛成者 松井洋和
大津泰則
及川満浩

本道の林業・木材産業は、山村地域を支える基幹産業として発展し、雇用の確保、地域経済の活性化などに大きく寄与してきた。

しかし、山村では、人口の減少と高齢化が急速に進みつつあり、近い将来、集落はもとより、自治体の存続自体が危ぶまれる事態をも想定されている。

一方、地球温暖化が深刻な環境問題となっている中で、二酸化炭素を吸収・固定する森林・木材に対し大きな関心と期待が寄せられているが、我

が国においては、化石燃料への依存が高く、森林や木材が果たす役割はこれまで以上に重要となっている。

このような中、道では、森林の公益的機能の維持増進や森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業及び治山事業や森林整備加速化・林業再生対策等を活用し、植林・間伐や路網の整備、山地災害防止、木造公共施設の整備などさまざまな取り組みを支援してきたところである。



伐期にきているカラマツ

今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、こうした取り組みをさらに加速させ、地域の特性に応じた森林の整備・保全を着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることが必要である。

1、京都議定書第二約束期間における森林吸収量の国際的な算入上限値³・5%分を最大限確保するため、「地球温暖化対策のための税」の使途に森林吸収源対策を位置付けるなど、森林整備や木材利用のための安定的な財源を確保すること。

2、森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用安定化を図るため、公共事業である森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。

3、川上から川下に至る総合的な対策を地域の実情に合わせて柔軟に展開するため、「森林整備加速化・林業再生対策」を恒久化し、財源を確保すること。

議会だよりに対するご意見・ご要望をお寄せ下さい！

読者モニター募集中！

お問い合わせ先 議会事務局 (64) 2511
メールアドレス turuimura21@yahoo.co.jp

一般質問

村政のここを問う

6人の議員が13項目の質問

秋里 広志 議員



マイナンバー制度とは？

色々な方法で周知をはかります！

日本に住む一人ひとりに、12桁の番号を割り振る社会保障と税の共通番号（マイナンバー）制度が、来年1月から始まり、10月から個々へ番号の「通知カード」が発送されます。

内閣府はマイナンバー制度の認知度について行った世論調査の結果を発表しましたが、個人情報への通知が1か月後に迫っても、内容まで知っている

人は半数に届かず周知不足が深刻です。さて、鶴居村での認知度はどうでしょうか。地域の催しや村の行事などで村民に聞いてみても、「言葉は知っているが内容は詳しくわからない」といった声が一番多かったような気がします。村の広報誌でも9月号からマイナンバー制度についての特集を載せていくようですが、広報誌だけじゃなく、各種団体の

会合、地域の行事に出席して周知を重ねる必要があると考えます。村民の認知度と周知について伺います。

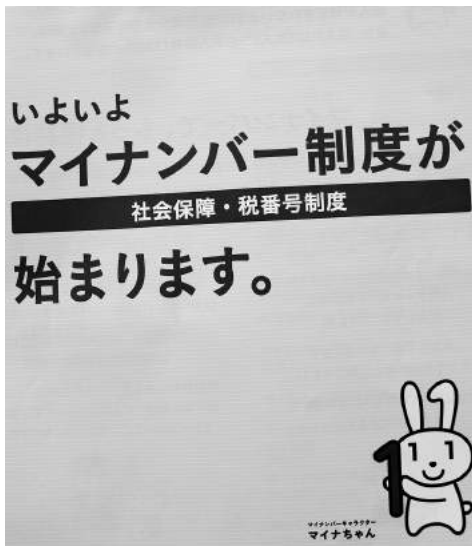
大石 村長

いわゆる「番号法」が、平成25年5月に制定され、10月から個人番号や法人番号の通知、来年1月からは個人番号カードの交付事務が始まる予定です。この番号法目的は、第一に、行政運営の効率化で、従前には無い迅速で的確な情報の収集管理や利用ができます。

「言葉は知っているが内容は詳しくわからない」といった声が一番多かったような気がします。村の広報誌でも9月号からマイナンバー制度についての特集を載せていくようですが、広報誌だけじゃなく、各種団体の

「言葉は知っているが内容は詳しくわからない」といった声が一番多かったような気がします。村の広報誌でも9月号からマイナンバー制度についての特集を載せていくようですが、広報誌だけじゃなく、各種団体の

「言葉は知っているが内容は詳しくわからない」といった声が一番多かったような気がします。村の広報誌でも9月号からマイナンバー制度についての特集を載せていくようですが、広報誌だけじゃなく、各種団体の



マイナンバー制度ってなに？

二つ目には、所得が正確に把握され公正な給付と負担が確保できることが期待できます。三つ目には、住民の負担軽減が期待できます。所得証明書などの貼付が不要となり、手続きが簡素化し証明書類の交付手数料の負担の軽減が図られます。

そして四つ目には、写真付きの個人番号カードなので、本人の確認手段として活用できます。デメリットとしては、情報漏洩やプライバシーの侵害が発生するおそれがあります。この点については、本定例会での「鶴居村特定個人情報保護条例」の制定によって、すべての特定個人情報を扱う事業所や委託を受けて事務を行う者などに対し、また、パンフレットの全厳正な個人情報の取扱いを求めることとしています。

次に、住民への広報周知についてです。村民の認知度についてIP告知端末で調査したところ、「知っている」との回答は、46・6%で、低い状況となっています。村でも今後、広報誌だけでなく、各種団体の会合、地域の行事などに向けて周知をすべきだと考えており、その内容については後日、IP告知端末などで広く村民の皆様に周知し、制度の普及拡大につなげていきます。また、パンフレットの全戸配布やIP告知端末などを使った広報も行う予定です。

具体的保護対策として、

具体的保護対策として、



松井 洋和 議員



ンを設置し、集客につなげることも有効な手段だと考えます。

運動広場も30年

が経過し、今後30

年間を担える新たな

大型集客施設を

大胆に考える必要

があると思いますが、村

長の見解を伺います。

大石 村長

村民の森を鶴居ガーデンに？
難しい課題が山積している！

大雪・富良野・十勝の

8つの美しいガーデンを

結ぶ全長250 kmの「北

海道ガーデン街道」に、

多くの観光客が訪れてい

ます。

そこで、素晴らしい景

観の「村民の森」を美し

い花で飾り、本格的なガ

デンとして今後数十年間

の集客施設としてはいか

がでしょうか。

また、村民の森の高低

差を利用してジップライ

言われています。

この事例はエリアの連

携、異業種の連携、人の

連携の成功事例として多

くのメディアで紹介され

ています。

しかし、「村民の森」を

「鶴居ガーデン」にする

には、立地条件として、

平たん部の水位が高いこ

とから湿地が多く草花の

栽培に適さないことや、

鹿による被害も確実に想

定され、「花のガーデン」

としての活用は厳しい環

境にあると考えます。

加えて付加価値的な施

設や観光要素も少ないた

め、観光ルートと認知さ

れ集客を図るには難しい

課題が山積していると思

います。

また、ジップラインに

ついては村の職員が他業

務での出張のうちに、ニ

セコ町にある同様の施設

を視察し、検討した経緯

がありますが、「村民の森

では高低差が大きすぎる

ことや確保できる延長が

短く遊具施設としての魅

力が発揮できないと判断

しました。

今後の「村民の森」は

当面、人工的施設の整備

を目指すのではなく、現

状の施設と自然を生かし

た利用方法として、今年

度から林間の遊歩道を再

利用し、無料で自由に楽

しめる「鶴居村フットパ

ス第2号村民の森コース

3・5 kmをオープンさせ、

多くの方々に利用しても

らいたいと考えています。

次に運動広場ですが、

近年入場者数に大きな変

動はないものの、週末に

は近隣市町村を中心に身

近な行楽施設として、比

較的小さな子ども連れの

家族の方々に多く利用さ

れています。

しかし、開設30年を経

過し、今までに施設の更

新や増設を図ってきまし

たが、一部に老朽化も見

られる状況です。

また、道内の遊具施設

は、近年の少子化傾向に

加え休日やレジャー環境

の多様化により、ごく一

部の有名大規模施設を除

いて大小を問わず厳しい

経営環境にあると聞いて

います。

このような状況から、

遊具施設は現状の利用形

態に対応した、身近で手

軽なレジャー施設として

の機能に重点を置いた維

持管理に努めるとともに、

物販施設なども含めた運

動広場全体としては、今

後の施設周辺の観光資源

との一体的な整備も視野

に入れながら、各施設の

役割を生かすような方策

を検討したいと考えてい

ます。



素晴らしい景観の村民の森



佐藤 吉人 議員



ます。

大石 村長

本交差点は、す
でに関係機関の協
議に基づき決定さ
れているので、交
通安全上は問題が
なく、道路構造の

**下雪裡の道道合流
T字路の改良を！**
**道に状況把握と
対応策を要望！**

この交差点は音羽橋か
ら鶴見台方面に右折時、
中央分離帯があるために
本線の道路が見えにくく、
しかも1車線で路肩側に
道路が傾斜しているため
に分離帯の手前で右折し
てしまい、いわゆる逆走
車両が後を絶ちません。
このカーブは以前死亡
交通事故が発生したこと
で改良されたものですが、
関係方面と標識や通行路
の表示などの協議を願

が見解を伺います。

大石 村長

旧A団地跡地は、次年
度から4年計画で地域優
良賃貸住宅の建設を予定
しており、すでに実施設
計と地盤調査を発注済み
です。

変更は難しいですが、管
理者である道路建設管
理部に逆走車両の状況把
握と対応策の必要性を検
討するよう要望します。

**プロムナードに
導線路を！**

**総合的なエリア
として検討！**

美しい芝生と水の流れ
る親水公園は憩いの場所
であり福祉施設などの社
会資本を来訪者に見せる
こともできます。
街中のにぎわいを復活
させるためにも導線路は
有効な方策だと考えます

題も顕在化。その結果、
牛乳生産も減少・伸び悩
み」と記述されています。

大石 村長

今後の推進方針として
「ビジョンで示された将
来像の実現に向け、市町
村・JAは自らの中期計
画に基づき主体的行動」
とあります。

今後、単身者用村有住
宅の建設位置やプロムナ
ードへの導線も含めた総合
的なエリアとして検討が
必要と考えており、検討
作業を行った後に必要な
整備を進めます。

**酪農従業員の
住宅確保を！**

**前向きに
協議検討します！**

美しい芝生と水の流れ
る親水公園は憩いの場所
であり福祉施設などの社
会資本を来訪者に見せる
こともできます。
街中のにぎわいを復活
させるためにも導線路は
有効な方策だと考えます



酪農振興のためにも住宅が必要

経営規模拡大などに伴
う労働力の確保のため、

すでに従業員住宅を確保
する法人農場や一部酪農
家があることは承知して
います。

大石 村長

しかし他の業種や事業
所にとっても住宅の確保
が必要ですので、今後の
人口対策や定住促進の観
点からも重要な課題であ
るので、前向きに協議検
討します。

**冬期間のごみ
ステーション対策は？**

**地域と十分に
連携協力を！**

高齢者宅や独居者宅な
どのごみ収集などに色々
問題が出てきています。
冬期間の凍結路面での
ごみステーションへの歩
行持ち込みなど、今まで
にはなかった事柄が問題
化することがあると思わ
れます。
村として調査し、対策
を講じるべきではないか

と考えますが、見解を伺
います。

大石 村長

ごみステーションは、
地域の意向を確認しなが
ら設置しています。
対応が求められた場合
は、村と地域が十分連携
協力して対処していくこ
とが現実的だと考えます。
今後、高齢化がさらに
進展してくると村として
も、高齢者の皆さんがよ
り安全安心な生活を確保
するための、実行性ある
方策を常に念頭に入れて
いかなければならないと
考えています。



冬のごみ収集は？



及川 満浩 議員



識について。
⑤村として福祉灯油や地域創生関連事業へ関連付けへの対応について。

大石 村長

最低賃金と生活保護の関係は？
最低賃金が上回っています！

10月より改定される北海道の最低賃金と制度改正された生活保護の関係について伺います。
①10月から16円引き上げられる道の最低賃金（764円）への評価と対応について。
②改定された冬季加算の削減想定額とその影響について。
③最低賃金と生活保護の関係について。
④最近の景気動向への認

①今回の改定は、景気動向に配慮した結果として受け止めています。次年度の村労働賃金表に反映させる予定です。

②本村生活保護受給者への影響額は、冬季加算支給月数は2カ月分増加しますが、世帯構成員の数により、月額で6260円から1万1740円の減額になると算定しています。
③全ての都道府県で平成26年度の最低賃金引き上げにより、最低賃金が生活保護を上回っています。
④特に中小企業が多い道東地域の景気回復の判断となる業況判断は、基幹産業の酪農や水産業で依

然、経費の高止まり感が続いていることから、厳しい経済状況にあると理解しています。
⑤生活保護費は日常生活に係る費用の需要額が算定されており、福祉灯油などの対応を行うと、生活保護費との二重支給が発生するので福祉灯油制度の対象外となります。また、地域創生関連事業は、国・道の対応となり、村の対応ではありません。

青空キッズの今後の展開は？

児童の利便性に配慮！

10月より下幌呂の放課後児童クラブ（青空キッズ）が、現在の下幌呂母と子の家から下幌呂小学校内へ移行します。現状と今後の対応を伺います。
① 移転に際しての学校側

への対応状況（備品など）について。

②利用者との協議経過について。
③今後の村としての放課後児童クラブの展開について。

大石 村長

①新校舎へ移転に必要な備品などを調査し、その購入費用を予算化しています。また、新校舎内にある備品についても、学校側の同意を得ながら、児童保育を利用する児童の利便性に配慮しています。

②4月以降、数回にわたり村と保護者代表との協議や打合せを行っていただきます。

③現状対応できる範囲で引き続き利用児童や保護者への支援を行います。移転先の新たな施設が児童保育を利用する児童やその保護者に、安心・安全な環境を提供し、利用児童にとって有意義な時間を過ごせるよう、十分配慮します。

光回線で独居世帯の状況把握を！

十分検討すべき課題！

村の事業により全村で光ケーブルによるネットワークが設置されました。今後、この光回線を利用した個別センサーの導入により、独居世帯の状況把握への利用の検討について伺います。

大石 村長

現状、本村の独居高齢者世帯の状況把握方法は、「緊急通報装置」の貸出しによるものであり、22台の機器を保有し、8月末現在、貸出を希望された13世帯の独居世帯に貸出中です。

村としては、現在の「緊急通報装置」貸付制度が有効に活用されているので、当面は同貸付制度による対応を行いながら、担当課の保健師による各戸訪問や各地区民生委員の協力による見守りの実施、そして、高齢者の個別ケースを検討し、情報共有を行う「鶴居村地域ケア会議」や、昨年度新たに立ち上げた関係機関による「鶴居村高齢者等SOSネットワーク連携会議」など、高齢者が住み慣れた地域で安心・安全に暮らすことができるように、引き続き各種施策を進めていきます。



新しい校舎で放課後児童クラブ



吉田 保博 議員



命活動ができることになっていきますが、年間を通じて利用できる安定した離発着場の整備が望まれています。

しかしながら幌呂地区の離発着場である幌呂スケートリンクは冬期間の除雪が不定期です。

村では、今後、スケートリンクの除雪体制の整備や既存の公共施設の駐車場への離発着の可能性を調査したうえで、緊急時対応の強化を図りたいと考えます。

ドクターヘリの着陸場所確保を！

緊急時対応の強化を図りたい！

ドクターヘリの村内の着陸場所ですが、最良は、幹線道路沿いで夏冬通年利用可能な舗装された場所です。

村内には多くの道道があり、必要な場所があれば要望をと思いますが、見解を伺います。

大石 村長

原則、ドクターヘリの離発着は、畑や道路でも緊急避難的に着陸して救



人・空・陸 命のバトンリレー

橋の補修は？

計画に基づき適正な管理を！

①幌呂より支幌呂に通じる道道に架かる「こげんばし」の欄干の塗装が剥げ落ちて錆が出ている状況となっています。

道道に架かる橋ですが村の見解を伺います。

②24年度に橋梁点検調査委託を行い、25年度に橋梁長寿命化修繕計画策定委託がされていますが、村内の村道と道道に架かる橋の状況の見解を伺います。

大石 村長

①「こげんばし」は、道の管理に基づき、21年度に点検を実施し、28年度に橋梁下部の補修と欄干の塗装塗り替えを実施する予算要望がなされています。

②村道に架かる橋は54橋梁ありますが、25年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき順次補修を行っていく考えです。

また、新たな点検結果なども考慮して、適正な管理に努めます。

道道に架かる橋梁についても、同様の管理がなされるものと考えています。

住民の健康に対する施策は？

「健康つるい21」の取組みを推進！

鶴居村では、村民の

健康に関しては力を入れており、各種健診・保健指導、脳ドックなどを助成し村民の疾病予防に取り組んでいます。

しかし働き盛りで子育て中の家の大黒柱である方が、心臓疾患や脳疾患などで突然死をされて、家族の皆様には大変痛ましい状況になる事態も見受けられます。

このような事態にならないよう住民の健康に対する施策再考も必要と思いますが、見解を伺います。

大石 村長

村としては、今後も健診の受診に関する普及啓発とともに、家族や職場、地域の方々に健診への理解を高めていただけるよう、今年度からスタートした「健康つるい21計画」の取組みを推進していきます。

傍 聴 席 か ら

傍聴席は残念ながら今回も0人でした。

議会だよりでは伝わらない情熱が、議場にはある

次回定例会は12月10日開会予定



大津 泰則 議員



多くもうけてもら
う。
② 独身者に結婚し
てもらおう。
③ 高齢者に長生き
してもらおう。
④ 死亡者数の減少
の4点です。

① については、
現在、第3子から祝い金
を支給していますが、第
2子から対象を下げ、
子育て世代に対する施策
の充実をお願いします。

出産祝い金を
第2子から！

希望を叶える
充実施策へ！

「消滅可能性都市」の
リストは大変シヨッキン
グでした。

本村は堅実な行政運営

や、分譲地販売を行い、
人口減少問題に対応して
いますが、人口減少は現
実のものとして受け止め
なければなりません。

人口増加には「自然増
と社会増」の2種類があ
ります。

「自然増」

①夫婦に「もう一子以上」

と家を建てる人達が転出

① 転出の抑制
② 転入の促進
の2点です

① について調べてみる

をしています。
出来る限り鶴居で家を
建ててもらえるように、
助成を検討していただき
たい。
② については、分譲地
の販売や、起業家支援事
業で素晴らしい成果を上
げており、引き続きの事
業充実に努めていただ
きたい。
しかし、これらに共通
する一番の問題は「雇用
の場の確保」です。
今後、中心市街地の活
性化や観光施設の建設を
検討していますが、民間



元気な子どもがいっぱいの村に！

業者が一件でも参入出来
るような施設整備をお願
いします。

一次産業も含め難しい
問題ですが、「雇用の場の
確保」について、村長の
お考えを伺います。

大石 村長

「消滅可能性都市」の
リストからは外れたもの
の、人口減少は免れない
ので、将来にわたり持続
可能な村づくりを目指し
た取り組みが急務と考え
ています。

まず、自然増を図る上

で①の「第
3子からの
出産祝金を
第2子に引
き下げる」
提案につい
てです。

経済的負
担の大きい
子育て世代
に対する支
援を図り、出

産、子育ての希望を叶える
取り組みは、将来の人口
問題に大きな効果をもた
らしますので、今後、現
行制度の充実整備に向け
検討していきます。

次に②の、独身者に結
婚してもらうための継続
的な事業の展開について
です。

これまでも本村では、
人と地域の出会いを意識
した地元での事業を行っ
てきましたが、さらに地
域の魅力を発信しながら
実施し、「対象年齢の引き
下げ」などについても検
討したいと思えます。

次に、社会増を図るた
めの施策についてです。
①の「転出の抑制」につ
いては、転出の抑制や定
住を促進する推進策とし
て、持ち家を奨励する支
援も有効なものですが、
長期的な財源の見通しな
ども課題となります。

次に②の、「転入の促進」
については、宅地分譲地
の販売による移住施策が
効果を上げてきたと考え
ますが、「雇用の場の確保」
が極めて重要であると十
分認識しています。

村内事業所に雇用拡大
を働きかけることも必要
ですし、将来的には、企
業誘致も含め、地域特性
を生かした食や再生可能
エネルギーに関連する事
業の創出など、新たな雇
用の場が確保できるよう
な取り組みも考えられま
す。

また、「民間企業が参入
できる施設の建設」につ
いてですが、地域に活力
を生む取り組みを推進す
るには、民間側の発想や
実践がより求められます。
今後、新たに活性化を
促す施設整備などを検討
する場合には、民間側の
協力参入を求めていくこ
とは当然必要なことであ
り、その際には十分な検
討が必要と考えています。



第3回臨時会

8月21日に第3回臨時会を開会しました。

建物の取得

村有住宅買取制度で基本協定書の締結をしました。

※指名型プロポーザル

選定条件に合った業者を絞り込んで指名し、業

者の技術提案書などを評価・検討したうえで、最も適切な業者を選定する方式です。



初めての指名提案型

- 契約の目的：鶴居市街村有住宅買取 (LDK4戸、2LDK1戸)
- 契約の方法：指名型プロポーザル※
- 契約の金額：44,550,000円
- 契約の相手：鶴居村鶴居南3丁目3番地 株式会社 山口工務店

- 契約の目的：中幌呂村有住宅買取 (LDK2戸、2LDK2戸)
- 契約の方法：指名型プロポーザル※
- 契約の金額：47,520,000円
- 契約の相手：鶴居村鶴居南3丁目3番地 株式会社 山口工務店



観光振興の起爆剤に！

地域特産品等 販売促進施設を建設！

9380万円

この施設は役場の道路向かい(セイコーマーケット隣)に建設し、施設内には物販・観光・飲食コーナー、事務室、厨房などを設け、野外にはテラス、駐車場、緑地などを整備します。

来年4月のオープンを予定しています。

臨時会 Q & A

村有住宅買取事業

松井洋和議員

Q 今回、オール電化住宅を選択していないのは？ また、家賃設定への配慮は？

A この住宅は単身者向けが多いのと、昨今の電気料金の値上げなど総合的に判断した結果です。家賃設定については、色々な形態の住宅が建ててきているので今後検討したい。

及川満浩議員

Q この事業の基本協定書で留意した点は？

A 今までの村が発注、施工する方式と違うので、先進的事例を参考に、特に建物に不具合があった場合や施工時の管理などに留意して作成しました。

吉田保博議員

Q 一般住宅と比べると建築単価が高いのでは？

A 単身者用が多いので、トイレ、風呂、ボイラーなどの設備費用が多くなるためです。

佐藤吉人議員

Q 建築費用が2割ほど削減できるとの説明でしたが、どのような？

A 今まで事前に別発注していた設計費用と業者の努力などでの削減になります。

特産品等販売促進施設

吉田保博議員

Q 9000万円を越える施設になりますが、その内容は？

A 大規模な道の駅とか商業施設などではなく、小規模なアンテナショップ的施設となります。

広域議会

釧路広域連合

第2回臨時会

東隆行議員より「議長選挙の件」として釧路市議会議長の月田光明氏が当選、「監査委員の選任について同意を求める件」については、白糠町の村議員、釧路市の中井氏の選任に同意した報告がありました。

北部消防

第2回定例会

松井洋和議員より「事務組合規約の変更」と、「財産の取得」として標茶消防署に配置する油圧救助器具と、標茶消防団に配置する消防団員装備品の購入について、**原案通り**可決した報告がありました。



◆総務常任委員会◆

9月8日に総務常任委員会を開催しました。

◆出席議員◆

委員長 大津泰則
副委員長 及川満浩
委員 東 隆行
松井洋和
松井広道
委員外 松井議長

現時点では意見書提出の時期ではないとの意見が多数を占めたので、9月定例会での意見書採択を見送ることにしました。

◆産業常任委員会◆

9月2日に産業常任委員会を開催しました。

◆出席議員◆

委員長 吉田保博
副委員長 佐藤吉人
委員 秋里広志
及川満浩
松井洋和
委員外 松井議長

②観光振興「ビジョン」の進捗状況について

次の三つの基本方針にそって観光振興戦略を展開していきます。
おもてなし環境の充実
『拠点施設の整備』など。
『地域の資源の活用』
『既存地域資源、観光×二ユーの魅力の向上』など。

①地方創生総合戦略の進捗状況について

27年3月に戦略本部を設置し、第1回会議を開催、7月に有識者による「鶴居村総合戦略策定委員会」を開催し、方針などを提示しました。
現在は「人ロビジョン」を調整している段階で、今後、それらを活用して10月中に素案を作成し、総合戦略策定委員会で検討を重ねて11月中には戦略を作成、12月には議会に報告する予定です。

◆議会運営委員会◆

9月8日に第3回定例会について議会運営委員会を開催しました。

◆出席議員◆

委員長 松井洋和
副委員長 大津泰則
委員 吉田保博
及川満浩
委員外 松井議長
松井副議長
説明員 山田副村長

④意見書について

意見書の陳情5件について協議し、1件を採択、1件を総務常任委員会に付託し、3件を不採択として回覧することにしました。

①会期について

9月15日(火)～18日(金)までの4日間とし、16・17日を休会して決算特別委員会を開催することにしました。

⑤決算特別委員会の設置について

委員長、副委員長の選出や今後のあり方についての協議を行いました。

「高レベル放射性廃棄物の最終処分場の選定対象拒否に関する意見採択を求める陳情」の取り扱い
6月定例会で総務常任委員会に付託された意見書採択について審議しました。
この件に関しては意見書の趣旨としては「賛同できる。」が、「現段階での釧根管内の動向として、必ずしも議論が醸成しているとは言えない。」「もう少し委員会で継続して



白熱した議論

今後、地元商工業者を中心とした開発チームを組織する予定です。

③議会規則の改正について

議会の「欠席届け」に

議会改革



全道広報研修会に参加しました!

広報広聴常任委員会

8月19日に全道広報研修会に参加しました。

活かそう
視察・研修

◆出席議員◆

広報広聴常任委員会
委員長 及川満浩
副委員長 松井洋和
委員 大津泰則
佐藤吉人

◆場所◆

ポールスター札幌

◆講師◆

長岡光弘さん
(グラフィックデザイナー)

◆参加人数◆

500人



講師の長岡光弘さん



全道から議会広報議員が集結!

今年もお盆明けの暑い時期の研修会になりました。昨年は「議会広報誌」の先進的な取り組みをしている十勝管内の視察を行ったので、全道広報研修会には2年ぶりの参加となりました。

前者は「斜め読みしても情報が伝わっているかを考慮すべき」ということで、後者は「行間を空けたり、多段組をすることにより、より真剣に文章にのめり込ませることができるといいます。

今回、特にインパクトがあったのは、「読者の視線誘導を行っているか」と「可読性(かどくせい)を向上しているか」でした。

今後、少しでも住民の皆様にとって読みやすい、わかりやすい「議会だより」を目指します。

議長・議員が

参加した行事



ふるさとまつり



村政懇談会



戦没者慰霊祭



鶴小学会



鶴居村

つるい議会だより

平成27年11月15日発行 147号

発行 北海道鶴居村議会
編集 広報広聴常任委員会

〒085-1203 鶴居村鶴居西1-1
0154-64-2511

新しく鶴居郵便局長として 着任しました!

佐藤 利光



鶴居郵便局へ赴任して来ては約6ヶ月。残念ながら今だお目にかかれていない方も大勢いらっしゃると思いますので、私の人となりと郵便局についてご紹介させていただきます。

私は釧路市出身で、1974年生まれ、40歳。妻と長男の3人で4月に引っ越して来ました。高校卒業後すぐに郵便局へ就職(当時は公務員だったことすら忘れておりました...)内勤として窓口業務に

携わり、釧路市内の郵便局を転々として、前任の音別郵便局から今年の4月に鶴居郵便局へ局長として着任いたしました。

鶴居郵便局は現在、窓口は社員1名、期間雇用社員2名、渉外社員1名、配達は社員3名、期間雇用社員2名のスタッフで業務運行しております。村内にはもう1局、幌呂郵便局がありまして、当局は鶴居市街地を中心に営業しております。

郵便局も平成19年10月に民営・分社化し、既に民間企業となっているわけですが、この度、株式公開ということでより一層の努力をしなければなりません。そういった意味では社内的なことは変化していくと思いますが、利用していただく皆様にとっては、従前どおりの地域の郵便局であり続けることはもちろん、皆様の生活に密着した、無くてはならない存在となるべく社員一同努力して参りますので、ご意見・ご要望などございましたら私宛で結構ですので、ご遠慮なくお申し付け下さい。

最後に、年の瀬も徐々に近づき年賀状の季節となりました。11月より年賀はがきを販売しております。例年、不足しないようにご用意しておりますが、種類によっては少ない物もございます。お早めの準備をお願いしつつ、皆様のご来局をお待ちいたしております。

携わり、釧路市内の郵便局を転々として、前任の音別郵便局から今年の4月に鶴居郵便局へ局長として着任いたしました。

鶴居郵便局は現在、窓口は社員1名、期間雇用社員2名、渉外社員1名、配達は社員3名、期間雇用社員2名のスタッフで業務運行しております。村内にはもう1局、幌呂郵便局がありまして、当局は鶴居市街地を中心に営業しております。

郵便局も平成19年10月に民営・分社化し、既に民間企業となっているわけですが、この度、株式公開ということでより一層の努力をしなければなりません。そういった意味では社内的なことは変化していくと思いますが、利用していただく皆様にとっては、従前どおりの地域の郵便局であり続けることはもちろん、皆様の生活に密着した、無くてはならない存在となるべく社員一同努力して参りますので、ご意見・ご要望などございましたら私宛で結構ですので、ご遠慮なくお申し付け下さい。

最後に、年の瀬も徐々に近づき年賀状の季節となりました。11月より年賀はがきを販売しております。例年、不足しないようにご用意しておりますが、種類によっては少ない物もございます。お早めの準備をお願いしつつ、皆様のご来局をお待ちいたしております。



タンチョウが羽を広げる姿をイメージした局舎です

広報広聴常任委員会

委員長	及川 満浩
副委員長	松井 洋和
委員	大津 泰則
委員	佐藤 吉人

森の町内会
問伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

問伐と問伐材の有効利用を促進して健全な森づくりに貢献します。